

作業学習支援案 農耕班

1 単元名「〇〇〇フェスタを成功させよう ～冬野菜を育てて、たくさん売ろう～」

2 単元について

○作業の概要

農耕班では、校内に2箇所の農園で、春夏はトマト、ピーマン、なすび、オクラ、秋冬は白菜、大根、人参、ブロッコリーなど季節に応じていろいろな種類の野菜を育てている。校外にも広い農園を借りており、玉ねぎやさつま芋などを無農薬で大量に生産している。収穫の喜びを得るためには、毎日泥にまみれて除草や耕起、肥料入れや水遣りという地味できつい仕事をたゆみなく行わねばならず、一年を通して、生徒は夏の暑さや冬の寒さなどの厳しい自然を、身をもって体験している。また、春秋のさわやかな気候の下、大地に蒔いた種が芽吹き、生長していく様を目の当たりにすることもできるのである。作業内容は多岐にわたり、使用する道具や肥料の種類も多い。お互いの協力を迫られる場面も多くあり、作業を通して適切な人間関係のもち方や協力して作業をすることの大切さを学ぶこともできる。

収穫した野菜は随時校内で保護者や来校者、職員などに販売している。また、「〇〇〇フェスタ」に向けて白菜、大根、ブロッコリー、葉物野菜などを計画的に栽培しており、フェスタ当日は、毎年山積みの野菜を完売している。

本単元の時季は寒く、雨や雪の降る日は室内作業を余儀なくされるが、天候によって作業内容を変更せざるをえないのが農業である。生徒がこれを理解して天候や状況に応じた作業に精一杯取り組めるよう支援していく。

○単元設定の理由

生徒は、5月の作業開始からこれまでに、畑の除草、耕起、肥料入れ、水遣り、種まき、ポットでの苗作り、苗の移植、野菜の収穫と袋詰め、販売といろいろな農作業を経験してきた。

本単元では、来年度の収穫用として校外農園(通称「福祉農園」)へ玉ねぎの苗植え(1,000本)、ポットで育てた葉野菜の移植、白菜の葉縛り、大根の種まきに取り組み、9月から10月にかけてまいたり植えたりした人参、ブロッコリーなどと一緒に収穫して販売する。これらの作業は、野菜の種類は変わっても、これまでの農作業の経験を十分生かせるもので、一人一人に自ら分かり動ける作業があるように構成している。育てる野菜も、なじみのある身近な野菜にすることにより収穫の見通しや楽しみを持ちやすいようにした。

作業学習の集大成の場である「〇〇〇フェスタ」では、たくさんの収穫物を販売するとともにポップコーンやジュース、コーヒーの販売も行い、生産物や商品の販売を通して流通のしくみや接客の方法、金銭管理などについても学習する。5つの作業班が「〇〇〇フェスタを成功させよう」という目標に向かって全力で取り組むことで、高等部全体に一体感が生まれ、仲間と協力して一つのことを成し遂げることの喜びや達成感も味わうことができるのである。

本単元を通して、生徒一人一人が自信をもって生き生きと主体的に作業学習に取り組むことができるようになる。

○班の構成

生徒 1 年生○人，2 年生○人，3 年生○人の計○人，職員○人の合計○人で，このうち昨年農耕班に在籍したのは 2 年生の○人である。就労を目ざしている生徒，農作業が好きな生徒，苦手な生徒，体力が十分にある生徒，体力に不安のある生徒，集団の中に入ることが苦手な生徒などいろいろな生徒で構成されている。

3 単元における目標

- 自分の作業に自信をもって生き生きと取り組むことができる。
- 作業に見通しをもち，精一杯作業に取り組むことができる。
- 収穫や販売への期待感をもち積極的に作業に取り組むことができる。
- 仲間と協力して一つの事をやり遂げた達成感や喜びを味わうことができる。
- 生産物や商品の販売を通して流通や接客のあり方を学び，農作業を職業として理解できる。
- 労働の厳しさと勤労の喜びを自身の体験を通して理解することができる。

4 単元における「子どもが自ら分かり動ける支援」を実践するための状況作りについて

(1)「子どもが自ら分かり動ける」活動の進め方

①見通しをもてるように

・授業のはじめに本時の作業内容と準備する道具，作業の流れなどを説明する。生徒は，5 月の作業開始からこれまでに，畑の除草，耕起，肥料入れ，水遣り，ポットでの苗作り，苗の移植，野菜の収穫と袋詰め，販売といろいろな農作業を経験してきた。このため生徒の中には，本日の活動の流れと作業内容がわかると，作業に必要な道具を農機具倉庫から出して準備したり作業内容をイメージできたりする生徒も多い。また，準備した道具を見て，全員が自分のすべきことが分かり，見通しをもって作業に取り組めるようになってきている。

②分かって動けるように

・口頭で説明した後に，実際に道具を用いて作業を行い，生徒に見せる。見る・聞くだけでは理解が難しい生徒には，職員が道具を握る位置や力加減を教えながら一緒にやってみる。

・数多く経験することにより，道具の使い方の向上を図る。

③意欲をもって主体的に動けるように

・農園では野菜の生長を見ながら収穫の時期を予想したり，今までに販売した野菜の売り上げ金のこと，2 月に開催する「○○○フェスタ」のことなどを話題にしたりして収穫や販売などに向けて期待感を高めながら主体的に作業に取り組めるような雰囲気作りを行う。

・育てた野菜を食べる経験や，もち帰って家族に喜ばれる経験が，作業への意欲につながることもあるので，収穫した野菜を使って調理・試食会を開いたり，初物をもち帰らせたりする。

④一人一人に，「自ら分かって動ける」作業があるように

・一人で自信をもってできる作業を準備する。これまでの作業学習を通して，少ない生徒でも 3～5 種類の「分かって動ける」作業を獲得している。これらの作業が生かせるように作業の流れを構成し，一人一人が自分に自信と誇りをもって主体的に作業に取り組めるようにする。

(2) 「子どもが自ら分かり動ける」を支える場の設定と道具や補助具の工夫

① 分かりやすい場の設定

- ・作業開始前の動き…長靴に履き替えて、農機具倉庫前集合→本日の説明を聞いて農園へ。
- ・作業後の動き…道具を農機具倉庫前に運んで終わりの挨拶。→靴を履き替えて教室へ戻る。使用した軍手は当番が教室にもち帰り洗濯する。袋詰めにした野菜は所定の場所にもっていく。このように一連の流れを繰り返し、どこに行って何をすればよいか分かるようにする。
- ・作物の種類ごとに畑の畝を分け、立て札を立てることで、どこに何が植えてあるか一目で分かるようにする。
- ・道具やもち物の場所を固定し、いつもそこから出して、元の場所に片付けるようにする。

② 一人でも「分かる」「できる」ように道具や補助具を準備

- ・ポットに入れる土の分量が適量になるようにペットボトルを利用した移植ごてを準備する。
- ・種をまく穴の深さが一定になるようにペットボトルの口を利用する。
- ・同じ量の種が蒔けるようにストローで小さなスプーンを作っておく。
- ・均等に種や苗を植えられるように、印をつけたロープを準備する。
- ・収穫したものを入れて、次々に仕事が進むように、ざるやコンテナを多めに準備しておく。
- ・販売用の袋に一定量の野菜を詰められるように秤で計量する。この際、目安になる重さの所に色セロハンで印をつけておく。
- ・体の大きさや腕力の有無に合わせて大・中・小のスコップを準備する。
- ・玉ねぎの苗を植える穴の深さが均一になるような棒状の補助具を準備する。

5 単元計画

期間	主な活動		雨天時の活動
11 / 12～15	玉ねぎの苗植え(校外農園)・大根の種まき		<ul style="list-style-type: none"> ・販売用の袋作り ・販売用看板作り ・畝用立て札作り ・収穫した野菜を使った調理と試食
19～22	かつお菜とチンゲン菜の苗の移植		
26～29	畝の耕起と肥料入れ・野菜の収穫		
12/3～6(本時)	豆の種まき・野菜の収穫と袋詰め・販売		
10～13	葉物野菜のポット作り・白菜の外葉縛り・野菜の収穫		
17～20	野菜の収穫と袋詰め・販売		<ul style="list-style-type: none"> 「〇〇〇フェスタ」の準備を行う
1/8～10	「〇〇〇フェスタ」の準備	野菜の収穫と袋詰め・販売	
15～17	・ポップコーン試作		
21～24	・コーヒーを入れる練習		
28～31	・ジュースを注ぐ練習		
2/4～6	<ul style="list-style-type: none"> ・接客の練習 ・レジ練習 ・呼び込み練習 ・看板と掲示物作り 		
7	「〇〇〇フェスタ」接客・呼び込み・レジ・販売		

※除草・水遣りは随時行う。

6 個別の支援計画

名前	これまでの様子と本単元の個別目標	本時の個別目標	達成への支援や手立て
Aさん	<ul style="list-style-type: none"> ・集団に入るのは苦手であるが作業場所での活動には慣れてきている。 ●作業の内容や手順が分かり、友達とコミュニケーションをとりながら協力して活動に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●興味をもって、すすんで作業をすることができ。 ●同じグループの友達と場を共有できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気分や持続力、場の雰囲気に応じて声かけや休憩を行う。 学－2
Bさん	※抽出生徒ですので「7. Bさんの目標と支援の手立て」をご覧ください。		
Cさん	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に取り組み細かい作業にも対応できた。言葉が出にくく、不意に話しかけられると緊張する場面が見られた。 ●説明を聞いて作業の流れややり方を理解し自信をもって作業に取り組むことができる。 ●与えられた仕事に責任をもって最後までやり遂げることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●種まきのやり方を理解し、一連の作業に責任をもってやり遂げることができる。 ●任せられた仕事に責任をもち、終わったら進んで次の活動に移れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一度で理解できるように丁寧に説明を行う。 学－9 ・賞賛する。 心－2 ・仲の良い友だちと組ませ生徒相互で協力できる状況を作る。 心－5
Dさん	<ul style="list-style-type: none"> ・作業のやり方を理解できれば一人で最後まで丁寧に作業を行うことができた。 ・心配性で気持ちがふさぎ、作業に集中できないことがあった。 ●与えられた仕事に責任をもって、最後までやり遂げることができる。 ●収穫や販売への期待感をもち積極的に作業に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●種まきのやり方を理解し、一連の作業に責任をもってやり遂げることができる。 ●任せられた仕事に責任をもち、生き生きと時間いっぱい作業に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲の良い友だちと組ませ生徒相互で協力できる状況を作る。 心－5 ・収穫の時期や「○○○フェスタ」のことを話題にして期待感を高めながら主体的に取り組める雰囲気を作る。心－1
Eさん	<ul style="list-style-type: none"> ・徐々に自分から進んで取りかかるようになってきた。動きや体力に少々不安がある。 ●体調やペース配分を考え長い時間取り組めるようになる。 ●準備や片付けも含め躊躇なく進んで取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●種まきのやり方を理解し自分から進んでやろうとする。 ●大根が折れないようにしっかり力を入れて引き抜くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・種をまく場所をはっきりさせて動きやすいようにする。 運－2 ・大根を引き抜くときしっかり力を入れるように促す。 学－2
Fさん	<ul style="list-style-type: none"> ・服薬の影響で日中に眠気を催すことがある。 ・水やりや草運びなどの仕事をすすんでやっていた。お茶が好きでたくさん飲みたがる。 ●作業の流れにそって、落ち着いて作業に取り組むことができる。 ●生き生きと主体的に作業に取り組める。 	<ul style="list-style-type: none"> ●作業の流れにそって落ち着いて作業に取り組むことができる。 ●すすんで大根を収穫し袋に詰めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・眠気が強いときは水やりなどの好きな仕事に変更する。 心－1 ・仕事が終わったらお茶が飲めるという楽しみを用意する。 心－2 ・賞賛する。 心－2

G さん	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かすことは好きで道具の使い方にも慣れてきたが、細かい作業は苦手である。 ・間違いに気付かず作業を進める傾向がある。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ●説明をしっかりと聞き、作業の途中でやり方を確かめながら進めることができる。 ●ペースを考え持続した取り組みができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●説明をしっかりと聞き、適量の種を丁寧にまくことができる。 ●大根が折れないように丁寧に引き抜くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・間違っていないか時々確認するように促す。 学-2 ・慌てずゆっくり引き抜くように伝える。学-2
H さん	<ul style="list-style-type: none"> ・作業を継続して行うことが難しく嫌なときは場を離れようとする。 ・依頼心が強く一人で作業をしたがらない。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ●終わりが分かり、一つの作業が終わるまで場を離れないで取り組めるようになる。 ●一人で作業できる時間が増える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●種まきが終わるまで場を離れない。 ●大根を折らないように丁寧に引き抜き、担当場所の収穫が終わるまで作業を継続することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・印のついたロープを使用し、均等に穴があけられるようペットボトルを利用する。学-6 ・慌てずゆっくり真上に引き抜くよう伝える。学-2
I さん	<ul style="list-style-type: none"> ・作業に取りかかるまでに時間がかかる。 ・細かい作業に難はあるが次第に慣れてきた。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ●声かけを待たずに自分から行動できるようになる。 ●一人でできる作業が増える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●種まきにすばやく取りかかることができる。 ●大根が折れないように注意深く引き抜くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・種をまく場所をはっきり示す。学-3 ・軽い声かけに留める。 ・大根は真上に力を入れて引き抜くよう伝える。学-2
J さん	<ul style="list-style-type: none"> ・体調を崩し皆と同様の作業をすることが難しかったが、徐々に回復に向かっている。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ●できる限り作業に参加し、皆と同様に作業に取り組むことができる。 ●一人でできる作業が増える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●種をまくための穴を一人で均等にあげることができる。 ●大根を折らないように丁寧に引き抜くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・穴をあけ用のペットボトルの使い方を示す。学-3 ・大根は、丁寧に真上に引き抜くように伝える。学-2
K さん	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し作業を重ねることでだんだん自信がつき一人でできる作業が増えてきた。 ・飽きてくるともち場を離れることがある。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ●一人でできる作業がさらに増える。 ●もち場を離れずに継続して作業を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●やり方や手順を守って種まきができる。 ●大根の収穫や袋詰めを最後まで場を離れず、責任をもって行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業を見せながら丁寧に説明する。学-3 ・仲のよい友達と同じグループにする。心-5 ・作業場所を決めて責任を持たせる。心-7
L さん	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に作業に取り組み道具の使い方にも慣れてきた。時々作業が雑になることがある。 ・就労を希望しておりいろいろな作業を経験している。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ●やり方や手順を守り、確実、丁寧に作業を行うことができる。 ●場に応じた言葉遣いで質問・報告ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●やり方や手順を守って一人で丁寧に種まきをすることができる。 ●担当場所の作業が終わったか確認し、次の作業に移ることができる。 ●場に応じた言葉遣いで質問・報告ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業を見せながら丁寧に説明する。学-3 ・班のリーダーとして作業に責任を持たせる。心-7 ・班のリーダーとして適宜報告をするように求める。心-7

7 Bさん(抽出生徒)の目標と支援の手立て

(1) これまでの様子と単元の個別の目標

○これまでの様子

- ・自信の無さからか、進んで物事に取り組むことが少ない。
- ・皆と反対の意見を言ったり違う事をしたりして注目を集めようとするところがある。
- ・説明を聞くときに後ろを向いたり、頭が下がったりして、聞くことに集中できないことが多い。
- ・言葉での説明だけでは理解が難しく、自分だけの判断で間違えることが多い。
- ・作業に飽きてくるともち場を離れたたり、手を止めてぼんやりしていたりすることがある。
- ・明るく朗らかな性格で、おもしろいこと、楽しいことを好む。
- ・野菜販売では、売れると大変喜び、大きな声で積極的に呼び込みや宣伝をすることができる。

○本単元の個別目標

- ・自信をもって生き生きと取り組める作業が増える。
- ・話す人の方を向いて説明を聞くことができる。
- ・作業のやり方や手順を確認しながら作業ができる。
- ・もち場を離れたたり、手を止めたりせずに、時間いっぱい作業を続けることができる。
- ・活動に目標をもち、積極的に作業に取り組むことができる。

(2) Bさんを支える状況作り(「自ら分かり動ける」支援のあり方)

(主体的に活動するために)

- ・毎時間の活動の流れを変えず、作業に見通しを持てるようにする。
- ・説明の際に、本人にとって興味・関心のある話題を盛り込み、前を向いて聞ける状況をつくる。
- ・口頭で説明した後に、実際に道具を用いてやって見せる。
- ・はじめて行う作業や難しい作業は、道具を持つ位置や力加減を教えながら一緒に行う。
- ・できるようになった作業は一人で任せ、できたときには、大いに賞賛する。
- ・作業のやり方や手順を確認するように促し、間違えずにできたら大いに賞賛する。
- ・収穫の時期や「○○○フェスタ」を話題にして期待感を高め、目標をもって主体的に作業に取り組めるような雰囲気をつくる。

(主体性を支える場の設定や道具や補助具などの工夫)

- ・道具を置く場所を固定して、どこに何があるか分かり一人で出し入れできる状況をつくる。
- ・均等に苗や種を植えられるように、印のついたロープを準備する。
- ・チンゲン菜やコマツナなどの小さな種を適量すくえるような補助具を準備する。
- ・種を植える適当な穴をあけられるようにペットボトルを利用する。
- ・玉ねぎの苗を植える穴の深さが均一になるような棒状の補助具を準備する。
- ・除草では、丈の長い草がたくさん生えている場所の担当にする。

8 本時の計画

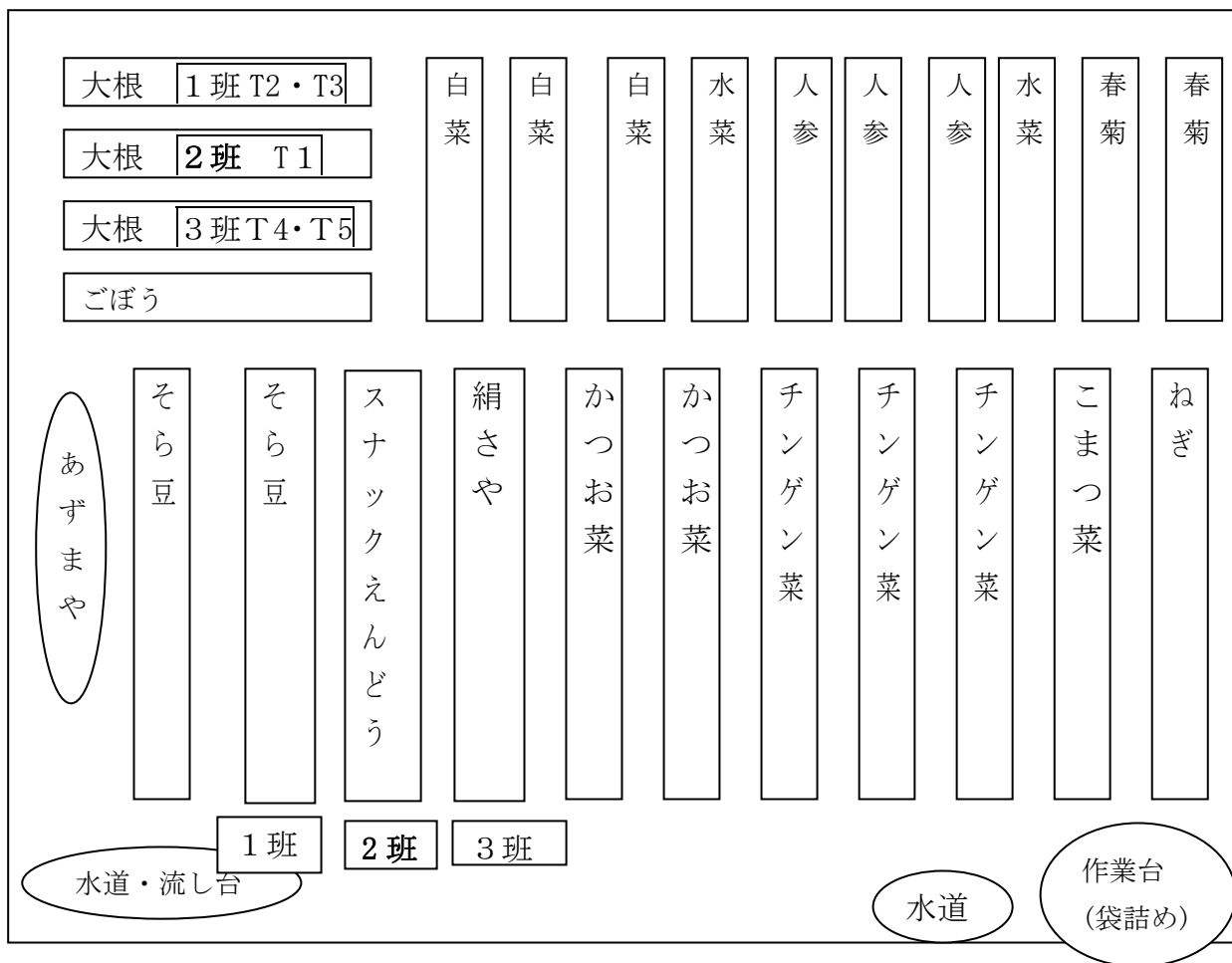
(1) 目標

- ・本時の活動の流れを理解して主体的に取り組むことができる。
- ・説明を良く聞いて、本時の作業に必要な道具を準備することができる。
- ・作業のやり方や手順を守って種をまくことができる。
- ・大根を収穫して泥を始末し、販売用に袋詰めをすることができる。
- ・使用した道具類を仲間と協力して片付けることができる。

(2) 展開

配時 (分)	○生徒の活動 ■Bさんの目標	◆Bさんの支援上の留意点	◇全体の支援上の留意点
1	○はじめのあいさつをする。		◇当番は本人が自覚できるよう順番に回す。 学 -8
2	○作業の流れと内容を聞く。 ■話す人の方を向いて手遊びをせずに聞くことができる。	◆話に注意を向けるよう本人の興味・関心がある話題を説明に盛り込む。 心 -1	◇準備する道具が分かるように具体的に話す。 学 -2
3	○道具類を農機具倉庫から出して一輪車に積み農園に出発する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">軍手・種・ロープ・ざる 移植ごて・販売用袋・布 コンテナ・ペットボトル</div> ■声かけをされずに自分から動くことができる。	◆動かないときは具体的に指示を出す。 学 -2	◇倉庫内は常に整理し、生徒の手が届く高さに道具を置いている。 運 -2 ◇道具を置く場所を固定する 学 -7
3	○農園に移動し、道具を下ろす。 ■声かけされずにできる。	◆自分から動かないときには下ろす道具や場所を具体的に伝える。 学 -2	
3	○種をまく畝に集合し、種まきの説明を聞く。 ■話す人の方を向いて手遊びをせずに聞くことができる。	◆種の大きさの違いなどを見せ関心を持たせる 心 -1	◇3種類の豆の種を見せ、それぞれ種の大きさが違う事を知らせる。(そら豆・絹さや・スナックえんどう) 学 -1
10	○3班に分かれて種まきを行う。 1 穴をあける 2 種を入れる 3 土をかぶせる 4 水をまく ■手順を確認しながらやり方を守って種まきができる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">豆の種(3種類)・ロープ 移植ごて・ペットボトル</div>	◆種が大きく数えやすいそら豆の担当にする。 学 -6 ◆穴の深さが一定になるようペットボトルの口を利用する。 学 -6 ◆手順を守れていないときは確認を促す。 学 -2	◇種まきに使用する道具を使って説明する。 学 -2 ◇まく場所が均等になるように印のついたロープを使用する。 学 -6 ◇穴の深さが一定になるようにペットボトルの口を利用する。 学 -6 ◇2班の作業は生徒に任せる 心 -7

9 場の設定と配置(農園)



班編成

1班・・・Aさん・Hさん・Iさん・Jさん (T2・T3)

2班・・・Bさん・Cさん・Dさん・Lさん (T1)

3班・・・Eさん・Fさん・Gさん・Kさん (T4・T5)

大根の種まきの様子

畝に肥料を入れる様子

野菜販売の様子

10 本単元で使用した補助具や道具の工夫

農具を選ぶ	農機具倉庫内	畝用の立て札
		
<p>○生徒の身体の大きさや腕力に応じて使用する農具の大きさを変えている。写真は、耕起用のスコップで、大・中・小の中から選ぶ。作業効率上がるし作業後の疲れも違ってくる。</p>	<p>○農機具倉庫内は常時片付けて、道具の場所が変わらないように気をつけている。 ○安全で取りやすい場所に道具を収納するようにしている。</p>	<p>○どこに何が植えているのかが一目で分かるように畝に立て札を立てている。 ○立て札は雨天時の室内作業のときに作っている。</p>
<p>ペットボトルで作った移植ごて</p>	<p>種や苗を植えるときのロープ</p>	<p>ストローで作ったスプーン</p>
		
<p>○ポットに野菜用の土を入れるときに使用する。テープで印をつけたところまで土を入れると丁度良い分量になる。透明なので中が見えやすく、また、口が広いので土を入れやすいのが特徴。</p>	<p>○畝に均等に種や苗をまくときに使用する。ロープにビニールテープで均等に印をつけている。畝に置いて印のついたところに種や苗を植えれば間隔が均等になる。</p>	<p>○チンゲン菜やコマツナなどの種は小さく、指でつまむのは難しい。このスプーンで使えば、誰でも簡単に種をすくうことができ、また、一度に種を蒔きすぎる心配がない。</p>
<p>野菜販売用の袋と型紙</p>	<p>目安になる重さに印をつけた秤</p>	<p>玉ねぎの苗専用穴あけ棒</p>
		
<p>○雨天時の室内作業で野菜販売用の袋作りをしている。これは、白表紙で作った袋の型紙。これに合わせてクラフト紙を折ったり切ったり貼ったりして袋を作る。</p>	<p>○野菜販売の際、一定量の野菜を袋に詰められるように、この秤で計量する。野菜ごとに目安になる重さのところに色セロハンで印をつけている。</p>	<p>○玉ねぎを校外の農園に1,000本植える。次々に①穴をあけ、②苗を入れ、③土をかぶせるという作業をする。これを使えば腰を痛めず適当な深さの穴があく。</p>